

幌延深地層研究センターの

見学に行ってきました

日本原子力文化財団の「地層処分事業の理解に向けた選択型学習支援事業」で、日本の最北端稚内の幌延にある「幌延深地層研究センター」の見学に、7月22日（月）～23日（火）で行ってきました。

見学会に先立って、7月19日（金）13時30分～15時00分の1時間半、地域交流部課長 石田純一氏から「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」の演題でオンラインでの事前勉強会を行いました。生徒から「北欧のエネルギー自給率の高いのはなぜか」、「日本のエネルギー自給率を上げるにはどのようにしたら良いか」、「地層処分以外の研究はされていないか、また玄海町は現在どのようなになっているのか」などの質問について、石田氏から適確な回答をしていただきしっかり理解できました。

見学会では、「幌延深地層研究センター ゆめ地創館」で幌延深層研究計画の概要説明、研究の背景と必要性の説明、VT-500で地下500mまでの降下の疑似体験、実物大の人工バリア、隙間充填装置、PEM模型とPEMの横置き定置装置、緩衝材可視化試験、バーチャル地下研究施設を3Dで体験など研究施設についての盛り沢山の研修があり、実際の縦坑の入り口や排水処理施設見学を行いました。日頃の学習活動ではできない研修と見学をすることができ大変有意義な見学会でした。



ゆめ地創館



展望階から地上施設



研究の概要説明

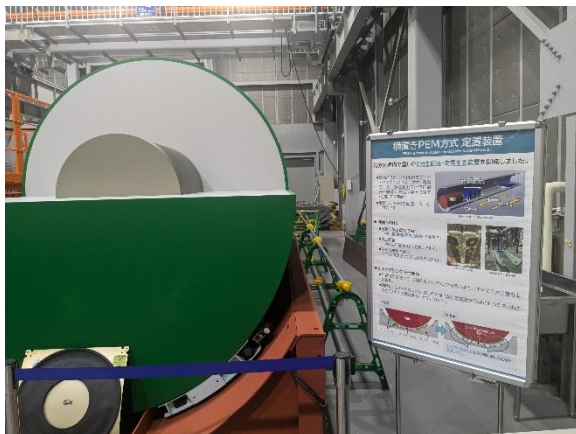


掘削作業の説明

研究施設全体を模型で説明



実物大人工バリア



PEM 模型と PEM の横置き定置装置



緩衝材可視化試験装置



緩衝材給水実験



縦坑入り口の説明

バーチャル地下施設3D



縦坑入口への案内エレベータ



縦坑地下入口 (350m までのレベータ)



排水装置見学